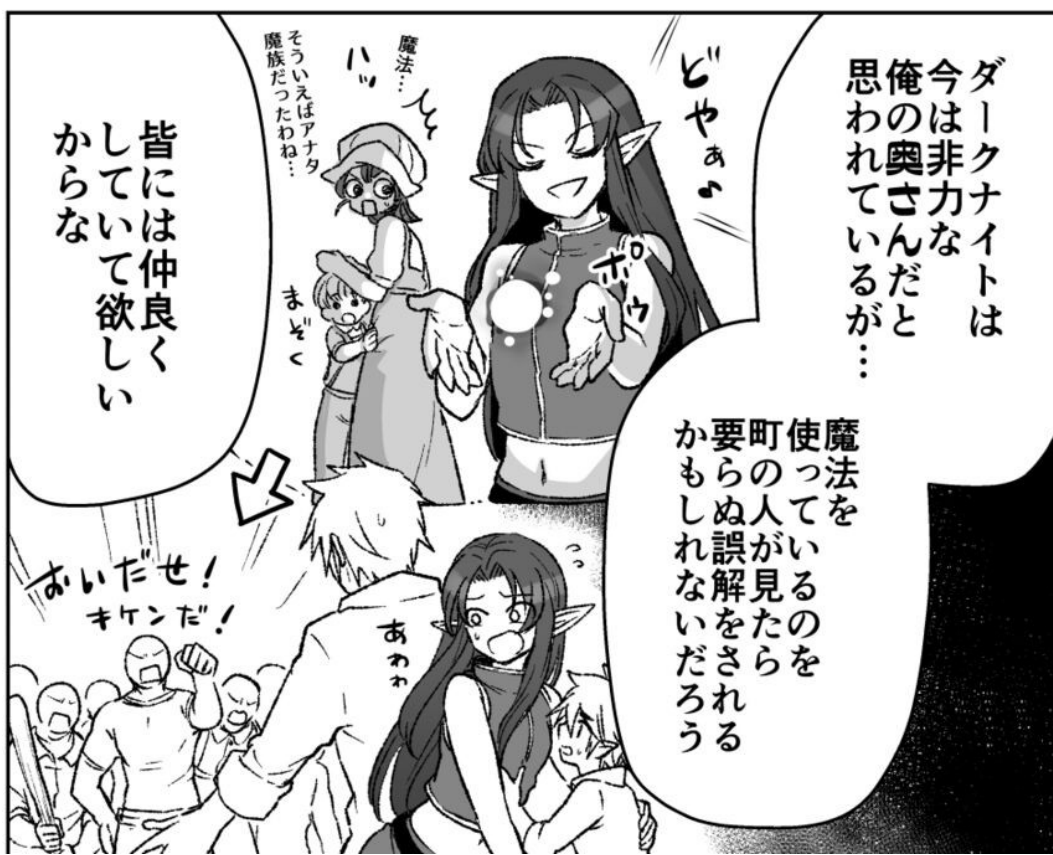




まさか封印されてたとはな…
通りでエナジーが1ミリも
感じ取れないわけだ

だが原因が
ハッキリしたのなら…

ほ…本当に
お前は何でも
出来るんだな
シャイニングホワイト

ズイ

そんなに心配せずとも…
お前は町の人からの
信頼も厚いじゃないか
何かあっても
解決できるだろう

だ…か…ら♪
私の魔法
少しくらい
解放し—

駄目だぞ

防御魔法を
使うくらいなの…

駄目だぞ

そめだぞ—

うーん…
いつものなら
この辺で
折れるのにな…

可愛さが
足りないのか？
なら…

むむ—





お…お願い♡
あ…

これでどうだ!

ア

ナ

タ♡

立派なメスになった
ダークナイトのすがた

ダークナイトが
俺に可愛くおねだり
している…!!

ドキーン



アナタ♡って
凄く奥さんて感じた!
真正銘
俺の奥さんだが…!
かわいい…!!

あなた…お願い♡

ぐ…かわ…
かわいい…

し…しかし
折れないぞ

これは
ダークナイトのため…
家族の安全のため…

ポロ

ポロ

いかんそろそろ
恥ずかしく
なってきた

これでも
折れないか…



ダメったら
ダメだぞ!

文字通り
口封じだ

そおいつ!

うう

んむうっ!?

ぽん



